

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	6077	(H.29)No.	6077
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農業委員会費		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	杉本 一徳	

会計区分	事業コード	290501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	農業委員会費	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業委員会費	農業委員会費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農地政策の適正運用を図るため、農業委員会の担うべき役割を果たす。
事業内容
○農業委員会法の改正により、農地転用許可や利用権設定等の法定事務に加え、農業委員会の重要な業務として法定された「農地等の利用の最適化の推進」業務を行う。 ①担い手への農地の集積・集約化 ②耕作放棄地の発生防止、解消 ③担い手の育成、新規参入の促進

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>法令業務、農地利用最適化推進業務の実施</li> <li>農業委員の任命</li> <li>推進委員の委嘱</li> <li>農業委員と推進委員の連携を念頭に「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定に着手する。</li> </ul> ◇決算内訳 委員報酬 6,658千円 旅費 373千円 消耗品費 126千円 県農委負担金 447千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令業務、農地利用最適化推進業務の実施</li> <li>農業委員と推進委員の連携を念頭に「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定を進める。</li> </ul> ◇予算8,983千円 内訳 委員報酬 8,064千円 旅費 397千円 消耗品費 72千円 印刷製本費 3千円 県農委負担金 447千円		
			H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
			<ul style="list-style-type: none"> <li>法令業務、農地利用最適化推進業務の実施</li> <li>「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令業務、農地利用最適化推進業務の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令業務、農地利用最適化推進業務の実施</li> </ul>

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		7,604千円		8,983千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		2,174		2,277	1,200	1,200	1,200
地方債							
その他( )		187		155	200	200	200
一般財源	0	5,243	0	6,551	6,600	6,600	6,600
人工数		0.70人		0.80人	0.60人	0.60人	0.60人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	5,180千円	0千円	5,920千円	4,440千円	4,440千円	4,440千円
①+②総事業費	0千円	12,784千円	0千円	14,903千円	12,440千円	12,440千円	12,440千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>H.29年度の委員報酬(日額)総額は6,658千円(28年度は6,912千円)で、前年度比約25.4万円減少している。</li> <li>農業委員会法の改正により平成29年7月から新農業委員14名、農地利用最適化推進委員12名、計26名の体制となった。</li> <li>委員も1年目という事もあり今年度の活動は減少した。</li> </ul>

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
農業委員、推進委員も2年目となり地域で共に取り組む「農地利用の最適化の推進」の活動が増加し委員報酬総額が増加する可能性がある。	第3次名張市農業マスタープラン